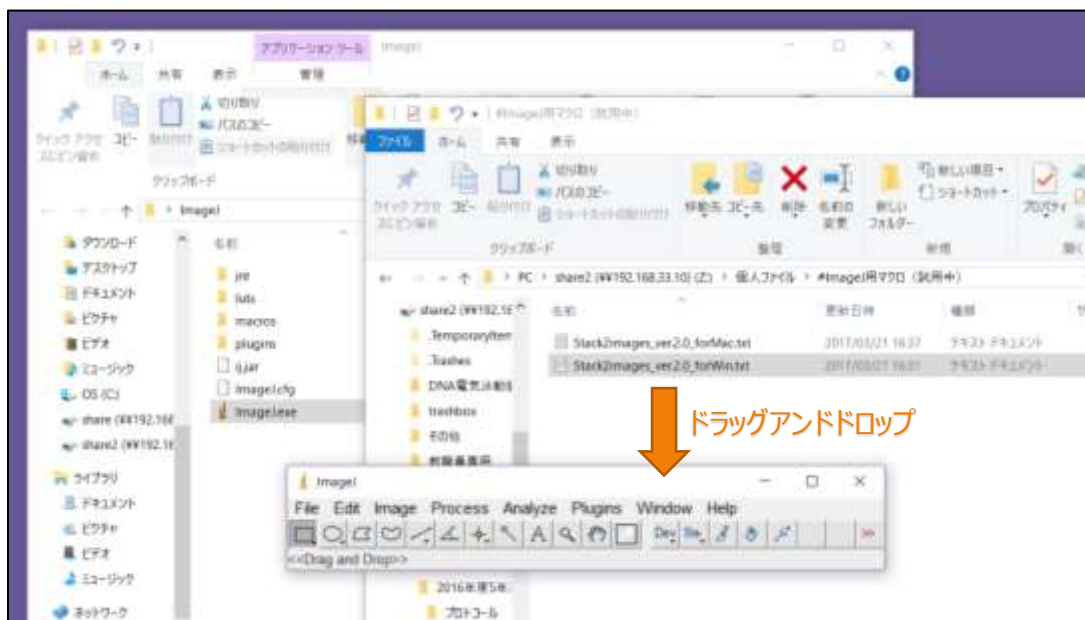


Stack2images ver2.0

1 使い方

- ① **起動** : ImageJ を起動します。
- ② **D & D** : Stack2images ver2.0 を ImageJ にドラッグアンドドロップします。

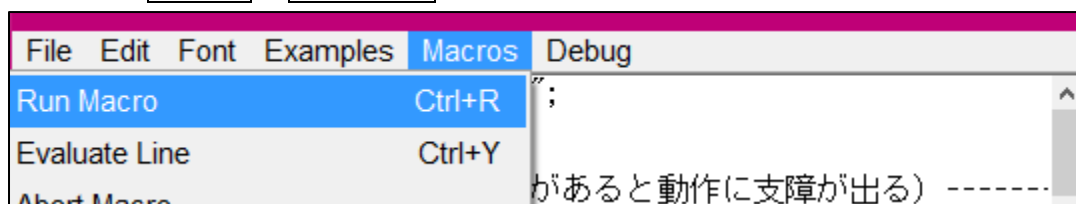


※お使いの OS に合わせて Windows 版と Mac 版を使い分けてください。それぞれに互換性はありません。

※必ず ImageJ を起動させてからドラッグアンドドロップしてください。

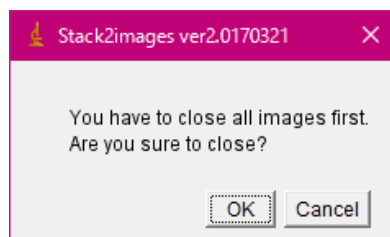
- ③ **実行** : Stack2images ver2.0 を実行します。

➤ メニューバーの **Macros** -> **Run Macro** をクリック



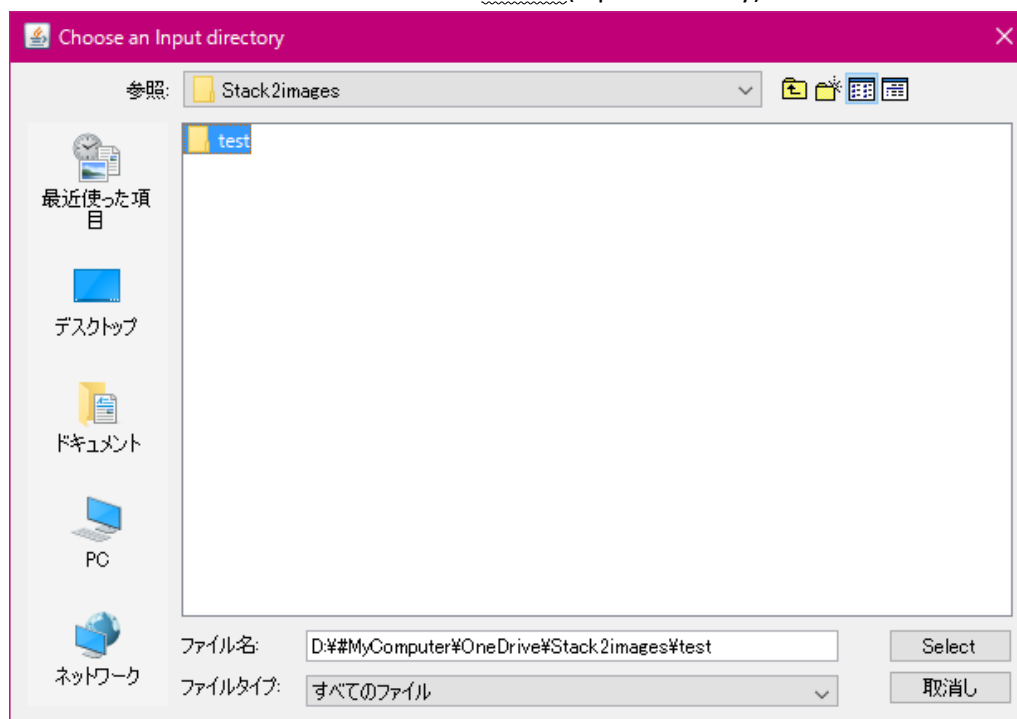
➤ または、キーボードで **Ctrl** + **R**

※ImageJ が他の画像を開いている場合、S2v2 によって強制的に閉じられます。作業中のときは注意してください。



← 閉じる前に、このようなダイアログが表示されます。

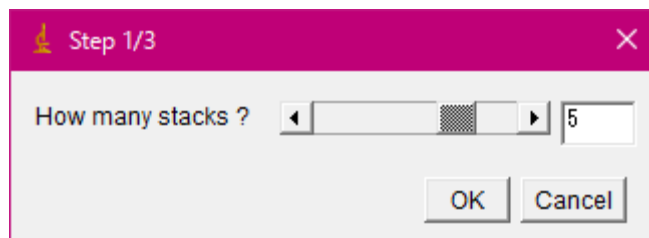
- ④ **フォルダ選択**：変換したい Tiff が保存されているフォルダ(Input directory)を選択します。



※書き込み可能なフォルダを選択してください。（読み込み専用フォルダでは正常に動作しません。）

※Input はローカルに設置することをお勧めします。ネットワーク HDD ではかなり低速になります。

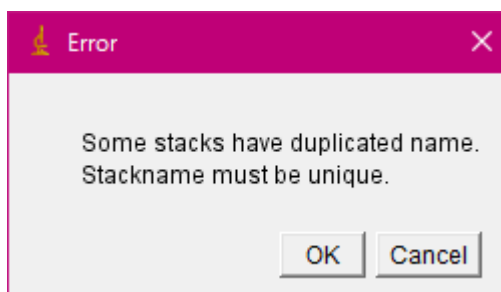
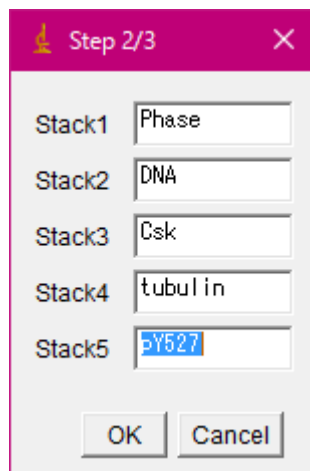
- ⑤ **Stack 数の設定**：はじめに、変換したい Tiff の Stack 数（2 ～ 6）を設定します。



- ⑥ **名前の設定**：各 Stack に名前を付けます。ただし、複数の Stack に同じ名前は使用できません。

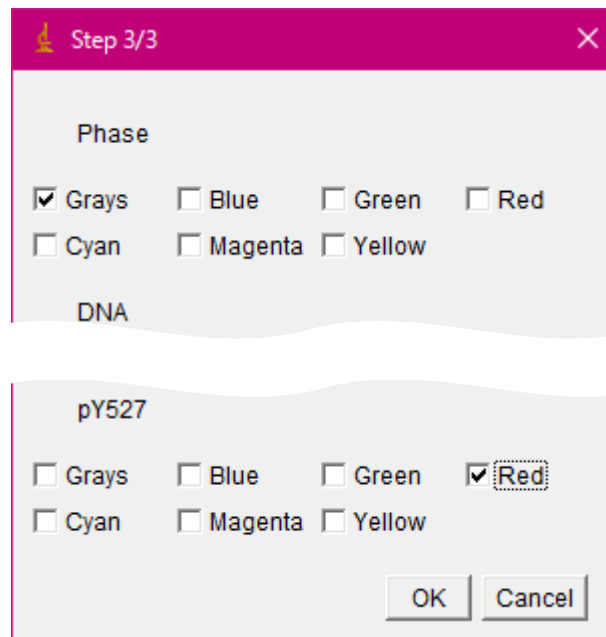
※一部の文字『\ / : * ? < > | 』は使用できません。それらの文字が含まれていた場合は自動的に除去されます。

※Stack の順番は Tiff に格納されている順番に従ってください。



名前が重複していた場合はエラーになります。
別の名前を付けてください。

- ⑦ **色の設定**：最後に、各 Stack の色を設定します。選べる色は 7 色あり、複数選択もできます。
OK を押すと、処理が始まります。あとはただ待つだけです。



- ⑧ **完了**：メッセージが表示されたら、処理は完了です。念のため、ログと生成物を確認してください。
④で指定したフォルダ内の「output」というフォルダに保存されています。

